

平成28年度
奈良県難病相談支援センター
事業概況



奈良県難病相談支援センター

1 難病相談

(1) 療養相談実施状況

相談方法：電話、面接、メール

相談時間：月～金曜日（祝日を除く）午前9時～午後4時

① 相談者数及び相談方法

平成28年度の相談件数は302件で、内訳は本人から155件（51.3%）、家族から67件（22.2%）、関係機関から73件（24.2%）、その他が7件（2.3%）であった。

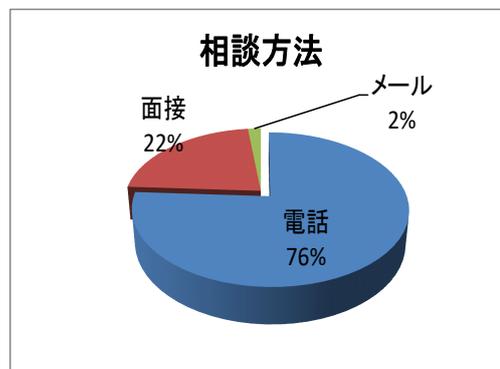
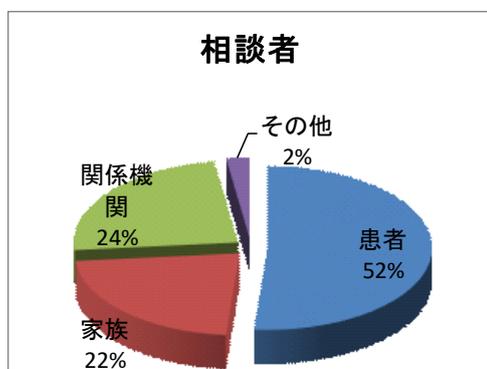
相談方法は、電話相談が231件（76.5%）、面接が67件（22.2%）、メールが4件（1.3%）であった。相談にかかる平均所要時間は電話が約15分、面接は約0.5時間である。

相談者

項目	本人	家族	関係機関	その他	計
件数	155	67	73	7	302
割合(%)	51.3%	22.2%	24.2%	2.3%	100%

相談方法

項目	電話	面接	メール	計
件数	231	67	4	302
割合(%)	76.5%	22.2%	1.3%	100%



② 相談内容

主たる相談内容は、医療については168件（55.6%）で、「医療費助成制度について教えてほしい」「専門の医療機関を紹介してほしい」といった内容が多かった。

項目	医療	病気	療養	介護	福祉	患者会	ピア	就労	レスパイト	その他	計
件数	168	14	18	2	18	19	7	36	1	16	302
割合(%)	55.6%	4.6%	6.0%	0.7%	6.0%	6.3%	2.3%	11.9%	0.3%	5.3%	100.0%

③ 相談の主な対応方法

相談内容が、その場で解決したと判断し終了とした件数は236件（81.1%）で相談の8割以上を占める。

主な対応方法としては、助言・自己決定が最も多く、傾聴、資料提供の順となっている。関係機関調整は、14件（4.8%）でハローワーク（難病患者就職サポーター）や保健所、患者会などであった。

即答できない相談内容については、センター内で検討及び情報収集を行い、後日回答している。

対応方法	件数	割合
傾聴	145	36.0%
助言・自己決定支援	160	39.7%
情報・資料提供	54	13.4%
他機関紹介	16	4.0%
関係機関調整	14	3.5%
その他	14	3.5%
合計	403	100%

（重複あり）

④ 相談者の居住地

相談者の居住地は、郡山保健所管内 163 件 (54.0%)、中和保健所管内 68 件 (22.5%)、奈良市保健所管内 46 件 (15.2%) の順に多かった。

相談者居住地	件数	割合(%)
奈良市HC管内	46	15.2
郡山HC管内	163	54.0
中和HC管内	68	22.5
吉野HC管内	6	2.0
他府県	4	1.3
不明	15	5.0
合計	302	100.0

⑤ 相談者の疾患

指定難病が 266 件 (88.1%) で、それ以外の疾患は 36 件 (11.9%) であった。疾患別ではパーキンソン病 48 件 (15.9%) が最も多く、網膜色素変性症 20 件 (6.6%)、潰瘍性大腸炎 13 件 (4.3%)、後縦靭帯骨化症 10 件 (3.3%)、筋萎縮性側索硬化症 9 件 (3%)、多発性硬化症・クローン病 8 件 (2.6%)、と続く。

(2) 就労相談等の支援状況

① 就労相談者数

	人数		
	男	女	計
20代	1(2)	3(6)	4(8)
30代	4(8)	0	4(8)
40代	3(8)	2(2)	5(10)
50代	1(25)	2(4)	3(29)
60代	2(3)	0	2(3)
計	11(46)	7(13)	18(59)

() 延べ人数

・就労相談者数は 18 人で延べ 59 件の相談があった。男性がやや多く、30 歳代が多い。

② 就労相談者の疾患内訳

疾患	人数
下垂体前葉機能低下症	3(8)
パーキンソン病	1(1)
潰瘍性大腸炎	1(1)
多発性血管炎性肉芽腫症	1(2)
I G A 腎症	1(3)
全身性エリテマトーデス	1(1)
後縦靭帯骨化症	1(1)
成人スティル病	1(2)
クルーゾン症候群	1(1)
クローン病	1(2)
多発性硬化症	1(2)
皮膚筋炎	1(1)
慢性炎症性脱髄性多発神経炎	1(4)
網膜色素変性症	1(25)
クッシング病	1(3)
脊髄空洞症	1(2)
計	18(59)

() 延べ人数

・下垂体前葉機能低下症の 3 人以外は上記各疾患 1 人ずつであった。

③ 就労相談者の就労状況

区分	就労中	休職中	未就労	退職	未把握	計
人数	7	2	0	1	1	21

・相談者の 3 割が就労中であった。

④ 就労相談者 18 人の支援内容 (重複)

・ 関係機関の紹介及び情報提供	(7)
・ 気持ちの整理支援	(6)
・ 就労制度に関する情報提供	(5)
・ 就労を前提とした療養支援	(4)
・ 就労関係機関との連携	(4)
・ 保健医療機関との連携	(1)
・ 福祉サービス等の情報提供	(1)

④ 関係機関等との連携 5 件

連携機関	件数
ハローワーク大和郡山（難病患者就職サポーター）	4
保健所	1
合計	5

(3) 医療相談実施状況

相談方法：面接等専門医師の相談、
相談時間：予約制 1 人 30 分、14 時 00 分～16 時 30 分実施

日程・疾患群	申込件数	相談件数	面接	電話	文書	疾患名	相談内容（重複）
平成 28 年 7 月 5 日（火）	6	5	5	0	0	重症筋無力症 1 パーキンソン病 2 シャルコー・マリー・トウース病 1 多発性硬化症 1	病気及び症状の説明 5 治療法について 4 薬について 4 日常生活の注意点 5 予後について 4 リハビリについて 5
9 月 27 日（火） 神経系疾患	9	9	9	0	0	パーキンソン病 4 脊髄小脳変性症 1 視神経脊髄炎 1 スモン 1	病気に関する治療 9 セカンドオピニオン 3 リハビリについて 9 今後の新薬について 9
7 月 8 日（金） 呼吸器系疾患	2	1	1	0	0	特発性間質性肺炎 1	病気及び症状の説明 1 治療法について 1 薬について 1 転医について 1
7 月 21 日（木） 筋骨格疾患	2	2	2	0	0	後縦靭帯骨化症 1 特発性大腿骨頭壊死症 1	病気及び症状の説明 2 予後について 1 病院の選び方 2 手術の必要性について 1 遺伝について 1 日常生活の注意 1
8 月 18 日（木） 消化器系疾患	5	4	4	0	0	潰瘍性大腸炎 2 原発性胆汁性肝硬変 1 クローン病 1	病気及び症状について 4 予後について 1 治療薬について 1 日常生活上の注意点 1 検査について 2 食事療法について 2 合併症について 2
8 月 26 日（金） 血液系疾患	1	1	1	0	0	特発性血小板減少性紫斑病 1	病気及び症状の説明 1 予後について 1 日常生活の注意点 1
9 月 2 日（金） リハビリ相談	4	4	4	0	0	封入体筋炎 1 脊髄小脳変性症 1 進行性核上性麻痺 1 慢性炎症性脱髄性多発神経炎 1	リハビリについて 4 日常生活の工夫について 4
9 月 16 日（金） 眼科疾患	2	1	1	0	0	ベーチェット病 1	日常生活の工夫について 1
10 月 7 日（金） 膠原病系疾患	4	4	4	0	0	多発性筋炎、皮膚筋炎 1 多発血管炎性肉芽腫 1 ベーチェット病・シェーグレン症候群・クローン病 1 強皮症 1	病気及び症状 4 日常生活上の注意点 4 最新の治療について 1 薬やその副作用 2 病気の予後 2

10月14日 (金)	1	1	1	0	0	発性拡張型心筋症 1	病気及び症状の説明 1 日常生活の注意点 1 病気の予後について 1
心臓血管系疾患							
合計	36	32	32	0	0		

医療相談は6月発行のセンターニュースや各保健所難病係にチラシを配布したり、ホームページで周知した。医療相談への申し込みは36件、医療相談実施件数は32件であった。

2 講演会・連絡会

(1) 重症難病患者コミュニケーション支援協力者連絡会

日時	平成28年6月16日(木) 13時～15時00分
場所	郡山保健所 看護学生カンファレンス室
対象	コミュニケーション支援協力者、県内保健所難病担当者
参加者	11名
ねらい	①コミュニケーション支援協力者と保健所の活動上の課題等を共有し、課題解決に向けて検討することができる。 ②保健所が活用しやすい名簿内容を検討する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度の事業実績報告について コミュニケーション支援のための情報提供書案について 活動上の課題について 平成28年度コミュニケーション支援事業について
評価	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション支援者8名のうち、実際に活動したのは2名で同じ人に活動を依頼することが多い。 支援者へ依頼する時の情報提供書が保健所によって違うため、支援者としてわかりにくいとのことで統一した情報提供書案を提示する。 今後は、事例検討を実施することで、活動していない支援者も状況を共有できるよう検討していく。

(2) 難病患者レスパイト入院関係機関連絡会

日時	平成28年10月25日(火) 14時～16時
場所	郡山保健所 101会議室
対象	在宅重症難病患者一時入院事業委託契約病院(22カ所)、県内保健所難病担当者
参加者	30名
目的	在宅で療養している医療依存度の高い難病患者が、家族とともに安心して在宅療養を継続するためには、家族の介護負担軽減を図るためのレスパイト入院が必要である、このことから、難病患者レスパイト入院に関係する医療機関や保健所及び在宅療養支援機関等が情報の共有や意見交換を行い、難病患者のレスパイト入院が必要な時に利用できる体制整備することを目的とする。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク事業実績報告 今までの取り組みについて レスパイト入院の体制づくりについて情報提供 3関係機関(奈良西部病院、郡山保健所、難病相談支援センター)から現状報告 グループワーク(5グループ) テーマ「レスパイト入院を必要とする患者が、必要な時にレスパイト入院を利用できる体制作りを目指して」

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・今までにレスパイト入院受け入れ病院が集まる事がなかったため、それぞれの困り事や工夫点について情報交換をする良い機会となった。 ・今回は医療機関、保健所等他職種連携できるようなグループ編成としてので、双方の積極的な情報共有や具体的な取り組み状況など確認できる機会となった。次年度は処遇困難事例の対応方法について検討する必要性がある。
----	---

3 在宅重症難病患者一時入院事業連絡会議欠席医療機関に対する取り組み

今回の連絡会議で保健所と医療機関の連携促進のため、重症難病患者一時入院事業における保健所と医療機関との連携状況、保健所からみた連携上の課題及び課題解決のために必要な取り組みについてグループワークで具体的に情報共有できたので、欠席医療機関(7)に対して医療機関の役割、難病相談支援センターの役割等について説明する。

4 情報の収集と提供

(1) ホームページ開設

- ① センターの案内 ② 療養相談の案内 ③ 県下保健所の紹介
- ④ 特定医療費支給認定申請書等のダウンロードサービス
- ⑤ 特定非営利活動法人奈良難病連加盟団体患者会一覧 ⑥ 難病ピアカウンセリングの紹介
- ⑦ センターニュース掲載 ⑧ 奈良県神経難病医療ネットワーク紹介

(2) 広報活動

- ① センターニュース（年間1回、6月発行）の指定難病特定医療受給者証更新者、関係機関への送付
- ② 各種事業チラシの配布
- ③ 難病相談支援センター交流室の開放（図書や雑誌を自由に閲覧できるよう開放）

4 難病ピアカウンセリング

(1) 難病ピアカウンセリング事業連絡会

難病ピアカウンセリング事業が円滑に実施することができるように、特定非営利活動法人奈良難病連ピアカウンセリング事業担当者及び奈良難病ピアカウンセラーの会（奈良難病ピア）代表と当センターで情報及び意見交換を行う。

回数	日時	場所	内容	参加者
1回目	平成28年5月19日(木) 13時～15時30分	難病相談支援センター	①前回会議の振り返りについて ②平成28年度ピアカウンセリング事業計画について ③ピアカウンセリング事業の周知について ④ピアカウンセラー養成講座の平成29年度以降の実施について ⑤奈良難病連ピアの活動について	11名
2回目	平成28年9月15日(木) 13時～15時30分		①前回の振り返りについて ②ピアカウンセリング事業（4～8月）の取り組みについて ③ピアカウンセリング事業の9月以降の計画について ④平成29年度及びピアカウンセラー養成講座の企画について ⑤ピアカウンセラーの活動について ⑥奈良難病連ピア会からの活動報告について	11名
3回目	平成28年12月8日(木) 13時～15時30分		①前回の振り返り ②平成29年度ピアカウンセラー養成講座について ③ピアカウンセラーの交流会について ④その他	11名

4 回 目	平成29年3月2日(木) 13時～15時30分	①平成28年度事業実績報告について ②奈良難病ピアの活動について ③平成29年度ピアカウンセリング事業案について ④ピア事業連絡会について	14名
-------------	----------------------------	--	-----

(2) 難病ピアカウンセラー養成講座修了生スキルアップ研修会 (難病連委託事業)
難病相談支援センターで、平成19年度から開始している難病ピアカウンセラー養成講座の修了生を対象に、難病ピアカウンセラーのスキルアップを目的に実施した。

回数	日時・場所	内 容	参加者
1 回 目	平成28年7月12日(火) 12時40分～15時 奈良県協働推進センターセミナー室	テーマ：ピア実践に向けてロールプレイ 講 師：関西学院大学 人間福祉学部 社会福祉学科 准教授 梓川 一 氏	12名
2 回 目	平成28年10月16日(日) 13時30分～15時30分 奈良市はぐくみセンター1階	内容：腸内フローラをふやそう ～排便障害改善のために～ 難病・医療支援係長 三原文子 氏 講 師：平和会吉田病院 消化器内視鏡・IBD センター センター長 藤井 久夫 氏	20名
3 回 目	平成29年1月24日(火) 12時40分～15時 郡山保健所 101会議室 *就労学習会と合同開催	テーマ：難病ピアカウンセリングの総括 ～つながり、ささえあう～ 講 師：関西学院大学 人間福祉学部 社会福祉学科 准教授 梓川 一 氏	16名

(3) 難病ピアカウンセリング (ピア相談) 実施 (難病連委託事業)

実施場所	実施件数
難病相談支援センター 等	18
対象疾患患者会事務所等	284
奈良難病連事務所電話対応等	4
計	306

(4) 難病患者交流会

	日時・場所	内容	参加者
1 回 目	平成28年8月4日(木) 13:00～16:00 郡山総合庁舎	①ミニ講座 「ハンドマッサージで体も心もリフレッシュ」 講師：南奈良総合医療センター 緩和ケア認定看護師 辻本 芳子 氏 ②交流会	25名
2 回 目	平成28年11月10日(木) 13:00～15:00 郡山総合庁舎	①ミニ講座 「気をつけよう転倒予防 転ばぬ先の杖」 講師：畿央大学健康学部理学療法学科 理学療法士 岡田 洋平 氏 ②交流会	27名
3 回 目	平成29年3月16日(木) 13:00～15:00 郡山総合庁舎	①ミニ講座 「笑いで免疫力アップ 知っていますか ラフター(笑い) ヨガ」 講師：認定ラフター・ヨガ 安藤 和子 氏 ②交流会	33名

5 難病患者就労支援

①難病患者就職サポーター連絡会

当センターとハローワークの難病患者就職サポーターが、難病患者の就労相談内容を共有し、よりよい支援方法を検討することを目的に実施した。

	日時	場所	内容	参加人数
1 回 目	平成28年5月10日(火) 13時30分～16時	難病相談支援 センター	①平成28年度難病就労相談実施状況について ②継続支援事例について ③難病就労相談の周知について ④平成28年度の事業計画について ⑤その他	3人
2 回 目	平成28年8月25日(木) 13時30分～16時		①平成28年度難病就労相談状況について ②連携について ③その他	3人
3 回 目	平成28年9月9日(木) 13時30分～16時		①難病相談支援センターの就労相談について ②ハローワーク大和高田からの報告 ③情報交換	7人
4 回 目	平成28年9月16日(木) 13時30分～16時		①難病相談支援センターの就労相談について ②ハローワーク大和高田からの報告 ③情報交換	7人

5 回 目	平成28年10月6日(木) 13時30分～16時	①就労相談個別支援経過報告について ②難病患者就労サポーターの難病相談 支援センター出張就労相談について	3人
6 回 目	平成28年10月20日(木) 13時30分～16時	①就労支援において効果的な取り組み 支援ツールの検討 ②その他	3人
7 回 目	平成28年11月17日(木) 13時30分～16時	①難病患者就労サポーターから情報提供 ②難病相談支援センターから情報提供 ③就労相談事業のPRについて	3人
8 回 目	平成28年12月15日(木) 13時30分～16時	①難病患者就労サポーターから情報提供 ②難病相談支援センターから情報提供 ③就労相談実施のPR等について	2人

②就労支援関係機関連絡会議 (難病連委託事業)

	内 容	場 所	参加者
1 回 目	実施日時：平成28年5月26日(木)9時30分～11時 対 象 者：奈良労働局・ハローワーク・障害者職業センター 障害者就業生活支援センター・特定非営利活動法人 奈良難病連就労担当者等 内 容：①平成28年度の事業の目的と内容について ②難病指定への就労アンケート結果について ③難病患者就労支援リーフレット及びQ&Aの配布に ついて 支援内容：会の運営に関する支援	難病相談支 援センター	12名
2 回 目	実施日時：平成28年7月28日(木)9時30分～11時 対 象 者：奈良労働局・ハローワーク・障害者職業センター 障害者就業生活支援センター・特定非営利活動法人 奈良難病連就労担当者等 内 容：①厚生労働省審議会第43回難病対策委員会概要説 明 ②難病指定への就労アンケート結果分析と課題の共 有について ③就労相談状況について 支援内容：会の運営に関する支援		8名
3 回 目	実施日時：平成29年1月25日(木)9時30分～11時 対 象 者：奈良労働局・ハローワーク・障害者職業センター 障害者就業生活支援センター・特定非営利活動法人 奈良難病連就労担当者等 内 容：①平成28年度就労支援事業実績報告について ②難病指定への就労支援調査から見えた課題 について ③就労相談状況について 支援内容：会の運営に関する支援		13名

③学習会 (難病連委託事業)

日時場所	内 容	参加者
平成29年 1月24日(火) 12時40分～15時 郡山保健所 101会議室 *難病ピアカウンセラー養成講座修了生スキルアップ研修会と合同開催	テーマ：難病ピアカウンセリングの総括 ～つながり、ささえあう～ 講師：関西学院大学 人間福祉学部 社会福祉学科 准教授 梓川 一 氏	16名

④就労レベルアップ研修会 (難病連委託事業)

日時場所	内 容	参加者
平成28年12月 7日(木) 14時00分～15時30分	(1)平成27年度末指定難病医療受給者証所持者数について(全国) (2)難病指定医への就労についてのアンケートのまとめについて (3)他県の難病就労の取り組みの紹介 (4)今後の取り組みについて 講師：奈良難病連 理事長 小川みどり 氏	13名

6 難病疾病医療講演会等 (難病連委託事業)

特定非営利活動法人奈良難病連への委託事業として実施し、事業企画・実施・評価等について支援を行う。

日時・場所	患者会	内容・場所	参加者
平成28年 5月22日(日) 13時～16時 奈良県社会福祉 総合センター	リウマチ友の会	(1)講演 ①「ライフスタイルと未来をまもるリウマチ診療」 講師：ひがみ病院 副院長 樋上 聡美氏 ②「腰痛の捉え方と治療」 講師：香芝旭が丘病院 副院長 植田小百合氏 (2)療養相談会	80名
平成28年 5月29日(日) 13時30分 ～15時30分 郡山総合庁舎	骨化症患者の会	ストレッチ教室 講師：ライフケア総合研究所 理学療法士 湯川直紀 氏	10名
平成28年 6月19日(日) 13時～ 16時30分 奈良県社会福祉 総合センター	膠原病友の会	(1)講演 「膠原病と血管炎」 講師：天理よろづ相談所病院 総合内科部長・膠原病センター センター長 八田 和大 氏 (2)医療相談会	92名
平成28年 6月25日(土) 10時～15時 奈良県社会福祉 総合センター	奈良難病連	①総会 ②講演 「障害者として」 ③「ラフターヨガ」	26名

平成 28 年 7 月 31 日 (日) 13 時 15 分 ～ 16 時 00 分 奈良県社会福祉 総合センター	全国心臓病の子 供を守る会	①エプロンシアター ②相談会 ③交流会	20 名
平成 28 年 10 月 2 日 (日) 14 時～ 16 時 はぐくみセンタ ー	多発性硬化症の 会	①講演 多発性硬化症 ～最新の診断・治療の話題を踏まえて～ 講師：天理よろづ相談所病院 景山 卓 氏 ②講演 視神経脊髄炎の最新の話題 講師：奈良県立医大 桐山 敬 氏	37 名
平成 28 年 11 月 26 日 (土) 13:45 ～ 16:00	骨化症患者の会	ストレッチ教室 講師：ライフケア総合研究所 理学療法士 湯川直紀 氏	8 名
平成 29 年 2 月 25 日 (土) 13:15 ～ 15:00 はぐくみセンタ ー	奈良難病連	RDD 2017 奈良同時開催 講演：知っておきたい神経難病 講師：しんのクリニック 院長 神野 進 氏	35 名

7 患者会等関係団体活動支援事業

難病患者及び家族会の総会等に参加し、活動内容や活動上の課題を把握するとともに組織運営に関する助言をおこなう。

患者及び家族会の参加等支援

対 象	内 容	参加者
「全国パーキンソン 病友の会奈良県支部」	実施日時：平成 28 年 4 月 18 日 (月) 14 時～ 16 時 30 分 場 所：やまと郡山城ホール 対 象 者：県内のパーキンソン病患者及び家族 内 容：総会・基調講演会 支援内容：総会参加	70 名
「多発性硬化症交流 会 (ほっとMS)」	実施日時：平成 28 年 5 月 12 日 (金) 14 時～ 16 時 場 所：郡山総合庁舎 対 象 者：県内の多発性硬化症患者及び家族 内 容：ほっとMS (多発性硬化症) 交流会・総会 支援内容：総会参加・組織運営に関する助言	12 名
「特定非営利活動法人 奈良難病連」	実施日時：平成 28 年 6 月 12 日 (日) 13 時 30 分～ 16 時 30 分 場 所：奈良市西部公民館 対 象 者：奈良難病連に所属している患者及び家族等 内 容：総会 研修「平成 27 年度 奈良県の障害福祉施策について」 支援内容：総会でのあいさつ	20 名

8 特定非営利活動法人奈良難病連との定例会議

お互いの活動を理解して、患者団体との連携を深め協力体制を図ることを目的に開催。

日 時・場 所	参 加 者	内 容
平成28年4月20日(水) 13時～15時 場所：難病相談支援センター	特定非営利活動法人 難病連役員 5名 難病相談支援 センター 4名	1 委託事業計画について ①ピアカウンセリング事業 ②難病患者療養支援強化事業 ③難病疾病医療講演会等事業 2 各患者会の活動内容報告 3 難病相談支援センターより事業紹介
平成28年10月18日(水) 13時～15時 場所：難病相談支援センター	特定非営利活動法人 難病連役員 6名 難病相談支援 センター 3名	1 委託事業の進捗状況について ①ピアカウンセリング事業 ②難病患者療養支援強化事業 ③難病疾病医療講演会等事業 2 今後の取り組み方について 3 平成29年度事業計画について 4 各患者会の活動について
平成29年2月16日(火) 13時～15時 場所：難病相談支援センター	特定非営利活動法人 難病連役員 5名 難病相談支援 センター 3名	1 事業の実績報告と評価 ①ピアカウンセリング事業 ②難病患者療養支援強化事業 ③難病疾病医療講演会等事業 2 平成29年度の難病連への委託事業 について 3 センターニュースの患者会紹介の掲 載について

9 神経難病医療ネットワーク推進事業に関すること

重症難病患者に対して、難病医療体制の整備（適時に身近な入院施設の確保を行うための医療ネットワークの構築）を図り、安定した療養生活の確保と難病患者及び家族のQOL向上を目指す。

①神経難病医療ネットワーク 医療従事者研修会及び連絡会議

日 程	参加者	内 容
平成29年3月11日(日) 14時00分～16時 奈良文化会館	68名	対象：ALS等神経難病患者・家族への医療に関わる難病患者在宅療養支援者 ・拠点病院・協力病院に従事する医師、看護師、窓口担当者、理学療法士、作業療法士等 ・神経難病医療ネットワークに関係する機関に従事する専門職種（保健師、訪問看護師、地域の医療機関等） *講演「自分らしくを支える緩和ケアについて」 平和会吉田病院 内科医師 加納 麻子 氏

奈良県難病相談支援センター

〒639-1041

奈良県大和郡山市満願寺町60-1
(奈良県郡山総合庁舎内)

電話(0743)55-0631 FAX(0743)52-6095

<http://www.pref.nara.jp/nanbyounet/>
nanbyounet@office.pref.nara.lg.jp